階層別研修　コース設計書（案）

|  |  |
| --- | --- |
| 時間×日数 | 8時間×8日間 （12月×3日、1月×2日、2月×2日、3月×1日） |
| 対象 | レベル2 、レベル3 の方 |
| 形態 | 弊社研修室にて、数人×3組でのグループ演習と全体での集合研修 |
| 使用テキスト | プロジェクター資料 |
| 希望機材 | 受講者用に1グループで3台(計9台)のPCと講師用PC  講師用PCの画面を表示するプロジェクター  ホワイトボード |
| 環境 | Windows7又は10のクライアントOS ネットワーク環境(インターネット環境は要相談) |
| スタッフ | メイン講師1名 |
| 研修の目的 | システム開発の上流工程(顧客対応～外部設計)の仮想演習を行い、現場エンジニアのPMスキル向上して頂く。 |

カリキュラム内容

|  |  |
| --- | --- |
| システム開発 上流工程研修  （2日間） 【レベル2】 | * システム開発上流工程講義   ・概算見積もりから、顧客対応を元に要求分析・機能分析・工程分析を行い正式な見積もり割り出しを行う流れを講義し、外部設計のドキュメント作成まで行って頂きます。   * 要件定義・外部設計演習   ・最初の顧客対応での聞取り要点などディスカッションして頂き、講師が顧客役になり聞取り演習して要件定義し外部設計を考えて頂きます。 |
| 仮想案件想定  (1日間) 【レベル3】 | * システム開発上流工程演習の仮想案件想定   ・2回目のシステム開発上流工程演習での仮想案件を想定しバックグランドの設定や顧客役の設定などを決めて演習仕様を作成します。   * 仮想案件のシミュレーション   ・演習仕様に基づいて仮想案件のシミュレーションを行います。 シミュレーション後、改善点や設定の変更、追加しブラッシュアップします。 |
| システム開発 上流工程演習 1回目 (2日間) 【レベル2＋3】 | * システム開発上流工程演習(1回目)   ・講師が顧客役とサポート、レベル3の方がPM役、レベル2の方がプロジェクトメンバーとなり演習を行います。  ・1回目の想定案件は本来あるべき流れをつかんで頂くことを目的に設定されています。  ・顧客対応の内容から要件定義書をまとめ見積もりを出し、要件定義書から外部設計書を作成するまでの流れをプロジェクトメンバーが行います。  ・PMも報告や指示だしなど、プロジェクトの管理と顧客とのパイプ役も担います。   * 演習の振り返り   ・演習後、完成した外部設計のレビューを行いドキュメントの品質評価をし、改善点などディスカッションして頂きます。 |
| システム開発 上流工程演習 2回目 (2日間) 【レベル2＋3】 | * システム開発上流工程演習(2回目)   ・レベル3が顧客役(最初の聞き取り)とPM役、レベル2の方がプロジェクトメンバーとなり、講師は全体の進捗管理とサポートを行い演習します。  ・顧客役の2回目以降の聞き取りは講師が顧客役(部下役)をします。  ・2回目の想定案件は現実の案件でよくある見落としや未調整で発生する問題要素を多く含んだ内容で、演習の完了が目的でなく、主に顧客対応の精度を上げる演習となります。  ・顧客対応の内容から要件定義書をまとめ見積もりを出し、要件定義書から外部設計書を作成するまでの流れをプロジェクトメンバーが行いますが、必須項目は見積もりを出す所までとしその後、顧客役とPM役でレビューを行い、見積もりと実工数のブレを割出し、問題点を洗い出します。(問題が発生しない、又は問題が解決できた場合は1回目と同様)  ・PMも報告や指示だしなど、プロジェクトの管理と顧客とのパイプ役も担います。   * 演習の振り返り   ・演習後、完成した外部設計のレビューを行いドキュメントの品質評価をし、改善点などディスカッションして頂きます。 |
| 階層別研修 成果発表  (1日間) 【レベル2＋3】 | * システム開発上流工程演習の成果分析   ・2回目のシステム開発上流工程演習の成果発表資料を作成します。  ・見積もりまでの流れの内、何が原因で見積もりと実工数のブレが発生したのか、顧客対応時にどう対応するべきだったのか、現状と理想で対比し資料を作成します。   * 成果発表   ・作成した資料を基に、各チームで発表を行います。 |